

No.107

令和4年10月号

よみがえる

【KJKだより】

水



公益
社団法人

香川県浄化槽協会

写真：寒霞溪

写真提供：(公社)香川県観光協会



式 辞

公益社団法人 香川県浄化槽協会

会長 山条 忠文

公益社団法人香川県浄化槽協会の会長を仰せつかっております山条忠文でございます。本日は何かとご多用のところ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜りましたことを心から厚く御礼を申し上げたいと思います。

また政務、公務ご多忙の中、香川県知事様をはじめ、国会議員の皆様方のご臨席に、協会を代表いたしまして心から厚く御礼を申し上げます。

本来なら昨年が、私ども浄化槽協会の50周年という節目の年でございました。ご案内のようにコロナの感染拡大によりまして、緊急事態宣言、まん延防止措置等が発出されました関係上、やむなく中止となりました。そして、一年延期してようやく今日この日を迎えることができました。この一年間の間に来賓の皆様、会員の皆様、またホテル等の皆様方におかれましても、御心痛を煩わすこととなりましたことを心からお詫びを申し上げます。この記念すべき50周年を迎えることができたことは、ひとえに香川県内の浄化槽を設置している香川県民の皆様をはじめ、行政の関係者の方々また、会員各位の格別なご理解とご協力の賜物でありますことを衷心より御礼を申し上げます。また、協会の発展に向けてご尽力いただきました歴代の会長様をはじめ、先人先輩の皆様方に対しましても、心から感謝を申し上げ、深甚なる敬意を表する次第でございます。

浄化槽協会の歴史を振り返りますと、昭和46年8月18日に香川県内の関係業者の方21人に結集いただきまして、社団法人香川県環境衛生防疫事業協会が設立されました。そして翌年の昭和47年3月に、社団法人香川県浄化槽センターとして改称したわけでございます。昭和から平成22年度まで香川県浄化槽センターとして浄化槽業務の推進のために努力を重ねて参りました。平成23年に公益社団法人の認定をいただきまして、公益社団法人香川県浄化槽協会に名称を変更し、今日まで香川県民の生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与して、全会一致で努力をして参りました。また現在、国の浄化槽行政につきましても様々な問題が山積いたしております。ひとつは令和2年に環境省が行った実態調査において、污水处理人口普及率が92.1%となりました。一方で、約990万人が污水处理施設を利用できていない状況で、その中でも浄化槽指定区域で530万人の国民が浄化槽を利用できていない状況にあります。また、浄化槽の中でも単独浄化槽が未だに364万基設置されたままとなっている状況の中で、国が持続可能な循環型社会形成の確立ということで様々な事業展開がなされておりますが、私どもは浄化槽を通じて、生活環境の保全、公衆衛生の向上に向けて努力をして参りたいと思います。本日お集まりいただきました皆様方をはじめ、行政各位の皆様より、倍旧のご指導ご鞭撻をいただきながら、国の方針に従い、香川県から環境汚染がないように地域社会を構築することを頑張参りたいと思います。

私どもは長年にわたって事業を実施してまいりましたが、県民の要請に真摯に答えて長年培った技術力、組織力で生活環境保全事業を進める専門的な企業集団として今後も浄化槽の普及促進、また、単独浄化槽から合併浄化槽の転換に向けて総力を挙げて取り組んで参ります。どうか本日お集まりいただきました皆様のご理解と、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びになりますが、本日ご臨席をいただきました皆様方の益々のご活躍ご健勝ご隆盛を心からご祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございました。



祝 辞

香川県知事

浜田 恵造

公益社団法人香川県浄化槽協会が創立50周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和46年に社団法人香川県環境衛生防疫事業協会として創立以来、浄化槽の適正な維持管理に関する普及啓発や浄化槽の指定検査機関としてその業務に努められ、本県の浄化槽行政の推進と生活環境の向上に大きく貢献されています。

これも偏に、山条会長をはじめ歴代役員、職員の皆様並びに会員の皆様方のご熱意とたゆみないご努力の賜物であり、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が社会経済に大きな影響を及ぼす一方で、人口減少と少子高齢化、デジタル化の加速、国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についての持続可能な開発目標（SDGs）への取組みの進展など、内外の情勢が急速に変化する中、地方においては、時代の変化に対応し、自らの選択と責任に基づき、地域の発展を進めていくことが求められています。

県といたしましても、香川づくりの3つの基本方針である「安全と安心を築く香川」「新しい流れをつくる香川」「誰もが輝く香川」に沿って、将来の発展のための各種施策に積極的に取り組むこととしており、施策の一つとして、生活環境の保全や持続可能な循環型社会の形成に向け、河川や海域の水質保全や廃棄物の適正処理のより一層の推進を図るため、引き続き、地域の実情に応じた、合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の計画的な整備を進めることとしています。

こうした中、貴協会におかれましては、社会を支える必要不可欠な活動として、感染防止対策を講じながら、浄化槽の設置や維持管理等にかかる業務を適正かつ円滑に実施いただいております。

皆様方には、この記念すべき創立50周年を契機とし、今後も浄化槽法定検査の受検率向上にご協力いただきますとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、浄化槽の適正な維持管理の促進などを通じて、安全で快適な生活環境の確保に、より一層のご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、公益社団法人香川県浄化槽協会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍並びに交通安全を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

※注：創立50周年記念誌（令和3年10月発行）の転載

創立五十周年 記念式典・祝賀会開催

令和4年8月18日(木)、協会は創立50周年記念式典・祝賀会を、JRホテルクレメント高松で開催した。15時より特別講演として公益財団法人日本環境整備教育センター顧問の国安克彦氏を講師に迎え『香川県における生活排水処理の現状と今後』についてご講演いただいた。そして16時30分より、三日月善夫副会長の開式のことがあり、山条忠文会長が式辞を述べ、記念式典が開催された。続いて、香川県知事 浜田恵造氏、衆議院議員 平井卓也氏、衆議院議員 小川淳也氏、衆議院議員 玉木雄一郎氏、衆議院議員 大野敬太郎氏、参議院議員 三宅伸吾氏、香川県議会議長 高城宗幸氏、坂出市長 有福哲二氏、香川県町村会会長・宇多津町長 谷川俊博氏、(一社)全国浄化槽団体連合会会長 上田勝朗氏、(公財)日本環境整備教育センター常任理事 鈴木義光氏からご祝辞をいただいた。

その後、香川県副知事 西原義一氏の乾杯の音頭で祝賀会が始まり、アトラクションを交えて、なごやかに50年の歴史話に花を咲かせた。

宴たけなわのうちに、長尾克己総務部会長の発声で一本締めを行い、横井宏之副会長の閉宴のことがばで、盛会のうちに閉会となった。



特別講演会



記念式典で式辞を述べる山条会長



記念式典で祝辞を述べる浜田知事



記念式典風景



祝賀会風景（空手演武と太鼓の競演）



式 次 第

司 会 森本 真帆

記念特別講演

1. 講 師 紹 介 公益財団法人日本環境整備教育センター
顧 問 国安 克彦 氏
1. 講 演 『香川県における生活排水処理の現状と今後』

記 念 式 典

1. 開式のことば 副会長 三日月善夫
1. 黙 祷
1. 式 辞 会 長 山条 忠文
1. 祝 辞 ご来賓からご祝辞を賜ります
1. 来賓紹介

祝 賀 会

1. 祝電披露
1. 乾 杯
1. 祝 宴
- 「創立50周年記念表彰式」 上映 (令和3年8月27日開催録画)
- 「アトラクション」空手演武と太鼓の競演
- “新極真会香川中央支部・坂出道場”ほかの皆さま
- 「50年のあゆみ」 上映
1. 万歳三唱 総務部会長 長尾 克己
1. 閉宴のことば 副会長 横井 宏之

沿革

- | | |
|------------|---|
| 昭和46年 8 月 | 「社団法人 香川県環境衛生防疫事業協会」として発足
高松市番町 1 丁目9-9 サンビルに事務所開設 |
| 昭和47年 3 月 | 「社団法人 香川県浄化槽センター」に名称変更 |
| 昭和51年 2 月 | 高松市番町 1 丁目10-35 日赤ビルに事務所移転 |
| 昭和55年 4 月 | 厚生省より浄化槽法定検査機関に指定
(厚生省環第235号指定番号第17号) |
| 昭和55年10月 | 浄化槽法定検査開始 |
| 昭和58年 5 月 | 浄化槽法公布（昭和60年10月 1 日施行） |
| 昭和61年 3 月 | 浄化槽法第57条第 1 項の規定により、同法第 7 条及び第11条の水質に
関する検査の業務を行う者として前川忠夫香川県知事より指定 |
| 昭和61年 9 月 | 浄化槽法による第11条検査・第 7 条検査開始 |
| 平成 5 年12月 | 高松市天神前4-10 白梅会館に事務所移転 |
| 平成 7 年 6 月 | 検査事業部開設（高松市鶴市町） |
| 平成 9 年 1 月 | 計量法に基づく濃度証明事業登録を受ける |
| 平成15年 9 月 | 香西本町に新社屋が完成し業務開始 |
| 平成16年 4 月 | 浄化槽法第11条検査、検査対象を全浄化槽とする |
| 平成23年 4 月 | 公益法人に移行し「公益社団法人 香川県浄化槽協会」に名称変更 |
| 平成26年 3 月 | 三豊市高瀬町下勝間2790-3に三豊連絡事務所を開所 |
| 令和 2 年 3 月 | 事務所敷地内に検査数増加に対応した新水質検査室が完成 |

指定検査機関四国地区協議会検査員研修会を徳島県で開催

令和4年9月15日(木)、16日(金)の両日、徳島グランヴィリオホテルにて令和4年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会が開催された。四国四県から49名、九州地区から12名が出席した。

公益社団法人徳島県環境技術センター会長 田村茂人氏が開会の挨拶を行い、徳島大学環境防災研究センター 湯浅恭史氏による講演『南海トラフ地震に対する防災対策について』を聴講し、続いて公益財団法人日本環境整備教育センター 濱中俊輔氏による講演『浄化槽法定検査判定ガイドラインの解説』を聴講した。尚、懇親会については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

二日目は四国の各検査機関による研究発表が行われた。

四国4県から、

1. ダイエー浄化槽FCE型水質改善調査報告
(公社)徳島県環境技術センター
2. 大腸菌群数と浄化槽処理水BOD濃度の関係性について
(公社)香川県浄化槽協会
3. 殺虫剤が浄化槽放流水のBODに与える影響についての検証結果
(公社)愛媛県浄化槽協会
4. 新人検査員の事故・トラブル軽減の取り組みについて
(一財)高知県環境検査センター

の4題について研究発表が行われ、九州地区の参加者による投票で最優秀研究には愛媛県浄化槽協会が選ばれた。

最後に公益社団法人徳島県環境技術センター専務理事兼事務局長の空保恭章氏が研修会の総括を述べ、二日間の検査員研修会は終了した。

来年は香川県で開催する予定である。



香川県研究発表



研修会風景

令和4年度市町職員研修会（現地研修）開催される

令和4年9月21日(水)土庄町、令和4年9月30日(金)東かがわ市で、香川県合併処理浄化槽推進協議会は、浄化槽設置整備事業における各市町の担当職員が実施する完了検査業務が円滑に行われることを目的として、市町職員研修会（現地研修）を実施した。



土庄町



東かがわ市

当協会からは、検査第1課の宮宇地副主幹、佐々木主任が講師として出席した。参加した各市町の担当職員の方々には、今後の業務に役立つ研修会となった。

かがわ未来へつなぐ環境学習会に参加

令和4年7月31日(日)丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスで、香川県が主催する『かがわ未来へつなぐ環境学習会』に参加した。工作や生きもの観察・展示など、様々な環境分野のブースを一堂に集めた体験学習会である。

当協会のブースは、低年齢層や親子参加者が、ブース内で「学び」や「気づき」の場として、楽しんで環境学習が行えるように、展示物やパネルでの説明・実験をクイズラリーと連動させ、完了者には「こどもじょうかそう博士」として、認定証の交付を行った。子どもたちは各ブースで熱心に説明を聞き、ペットボトルを使用した紙の溶け方の実験やタブレットで微生物動画を観察した。浄化槽についての質問も多く、『使う水には関心があったが使った後の水については知らないことが多かった』とお声をかけていただいた。新型コロナウイルス感染症対策の為、200名の来場定員を設け、入替制での実施となった。



水環境出前講座実施

令和4年7月7日(火)高松市立一宮小学校で4年生96名を対象に環境学習を実施した。1時限目は座学として、地球の水循環の説明や、人が一日に使う水の量を計算して水の大切さを学んだ。浄化槽でよごれた水をきれいにする仕組みについても説明を行い、休み時間にはタブレットで浄化槽に棲む微生物の動画を観察してもらった。2時限目は学校近くの川の水で水質実験を行った。上流と下流の透視度、CODを計測し、違いを数値化して確認した。最後に行ったおまけの実験では、飲み切った缶ジュースの缶をきれいな水に浸けると、どのくらい水が汚れるのかをCODで測定し、その結果には先生方も驚いた様子であった。

まとめとして、今日の授業を受けて気付いたことや分かったこと、汚れた水を多く出さないために私たちができることをワークシートに書き込み発表した。

この水環境出前講座は、高松市都市整備局下水道部下水道業務課が主催する環境学習で、令和元年度より高松市からの委託事業の一環として当協会が実施しているものである。



協会のうごき

7月～9月

7月1日	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	8月19日	浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館）
7月2日	浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館）	8月24日	環境学習（高瀬町たけのこキッズ）
7月5日	不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局）		不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所）
7月6日	第2回内部点検	8月25日	浄化槽設置者講習会（東かがわ市交流プラザ）
	安全運転管理者講習会（レグザムホール）	8月30日	不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局）
7月7日	環境学習（一宮小学校）		不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所）
7月8日	浄化槽設置者講習会（坂出市勤労福祉センター）		安全運転管理者講習会（地域職業訓練センター）
7月13日	水輪の会幹事会（アナザースタイル）	8月31日	第3回内部点検
	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）		KJK会幹事会
7月15日	浄化槽設置者講習会（善通寺市民会館）	9月2日	浄化槽設置者講習会（香川県中讃保健福祉事務所）
7月21日	浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館）	9月5日	浄化槽設置者講習会（みとよ未来創造館）
	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	9月6日	香川県公益認定等審議会立入検査
7月22日	令和3年度実務セミナー（性能評価型登録浄化槽の構造と維持管理上の留意事項）	9月8日	消防訓練
7月25日	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）	9月9日	環境測定分析精度管理事業第3回幹事会
7月26日	夏休み出前講座（アフタースクール空港通り）	9月14日	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）
	第1回情報セキュリティ対策検討会議		香川県建築士会70周年記念式典・祝賀会
7月28日	安全運転管理者講習会（地域職業訓練センター）	9月15日	第1回広報委員会
7月31日	かがわ未来へつなぐ環境学習会（アイレックス）		四国地区協議会検査員研修会（徳島）
8月2日	環境測定分析精度管理事業第2回幹事会		浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館）
8月3日	浄化槽設置者講習会（中讃保健福祉事務所）		第2回情報セキュリティ対策検討会議
8月4日	全浄連総務委員会（Web会議）	9月16日	四国地区協議会検査員研修会（徳島）
	浄化槽設置者講習会（みとよ未来創造館）		浄化槽設置者講習会（坂出市勤労福祉センター）
8月5日	不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局）	9月17日	浄化槽設置者講習会（サンメッセ香川）
8月6日	浄化槽設置者講習会（アイレックス）	9月20日	第1回中央保証制度審査委員会（全浄連Web会議）
8月10日	浄化槽設置者講習会（協会大会議室）	9月21日	市町職員研修会（土庄町）
8月12日	第3回会長・副会長会議	9月26日	浄化槽設置者講習会（土庄町総合会館）
8月16日	浄化槽設置者講習会（坂出市勤労福祉センター）	9月27日	KJK会幹事会
	不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所）	9月28日	第2回機関紙編集委員会
8月18日	創立50周年記念式典・祝賀会（JRホテルクレメント高松）	9月30日	市町職員研修会（東かがわ市）

環境学習出前講座を実施

令和4年7月26日(火)アフタースクール空港通りで15名、令和4年8月24日(水)特定非営利活動法人たけのこキッズで21名を対象に、学童施設内で環境学習出前講座を実施した。座学では、水の循環についての説明や、浄化槽で水をきれいにする微生物とはどういう生き物か、私たちの生活の中で微生物がどのように役に立っているか等について説明を行った。実験講座では、顕微鏡にて活性汚泥の中にいる微生物を観察したり、水の入ったペットボトル2本の中にトイレトーパーとティッシュペーパーを別々に入れて溶け方の違いを比べ、その水をペットボトルで作った「ろ過装置」を通して水がきれいになったか等の実験を行った。子供たちは実験の結果をスケッチし、気付いたことなどを発表した。



アフタースクール空港通り



たけのこキッズ

自衛消防（防災）訓練を実施

令和4年9月8日(木)15時より当協会において自衛消防訓練を行った。所在勤者を対象とし、地震による津波・火災が発生したことを想定して「避難訓練」、「通報訓練」、「消火訓練」を行った。

消防機関への模擬通報の後、消火器の操作方法について説明を受け、訓練用の水消火器を使って消火訓練を行った。



香川県廃棄物対策課・高松市都市整備局からのお知らせ —令和4年度浄化槽管理士研修会の開催について—

毎年実施しております浄化槽管理士研修会が下記の要領で開催されます。

詳細につきましては、香川県または高松市からの案内状（郵送）をご覧ください。

記

日時 令和4年10月27日(水) 14:00～16:30

場所 穴吹学園ホール (旧: 高松テルサ)

香川県高松市屋島西町2366-1

講師 (公財) 日本環境整備教育センター

持参物: 各人の浄化槽管理士証、筆記用具

令和4年度浄化槽保守点検業者技術向上 現場研修会の開催について

協会では、令和4年度浄化槽保守点検業者技術向上現場研修会を、11月11日(金)に開催致します。この研修会は、香川県からの受託事業として毎年実施しております。今年度の対象者は、小豆総合事務所管内及び高松市内に事務所を開設している保守点検業者の浄化槽管理士を予定しております。10月上旬に、協会から各営業所に案内状を発送致しますので、届きましたらご確認の上お申し込み頂きますようお願いいたします。

事務局より

ご意見募集

機関紙に対するご意見・ご感想等ございましたら、当協会のシステム管理課までお知らせください。今後の参考とさせていただきます。

Mail:

system@kagawajk.jp
次回の機関紙は令和5年1月発行の予定です。

お知らせ

協会では浄化槽の維持管理（保守点検・清掃・法定検査）の広報活動として各市町等が開催するイベントに参加しています。

●善通寺農商工

夢フェスタ

日時 10月15日(土)

10月16日(日)

場所

善通寺五岳の里
市民集いの丘公園

編集後記

当日の様子は本文に詳しく紹介されたと思いますが、8月18日夕刻、J.Rホテルクレメント高松において、念願であった香川県浄化槽協会創立50周年記念式典ならびに祝賀会が無事開催されました。当日は、大変多くのご来賓にご臨席いただき、心のこもる祝辞を賜りました。その多くは、創立から現在まで、当協会が香川県の水環境の保全と生活排水対策に貢献してきたことに対するお褒めの言葉であったと記憶しておりますが、本協会の一員として大変感銘を受けましたし、また本協会を改めて誇りに感じる事ができました。更に協会100周年に向け、団結を強め、浄化槽の普及を通じて社会貢献に取組むことを改めて心に誓う機会となりました。

当日はコロナ禍下での祝宴となりましたので、アルコールは少し控えめ(本当?)、マスク越しでの静かな歓談となりましたが、久しぶりにお目に掛かる方々も多くあり、旧交を温める機会ともできたと思います。また新極真会の皆様には迫力あり、かつ微笑みを誘う演武で会場を大いに盛り上げていただき、楽しませていただきました。

式典はこのように盛会のもと無事に終えることができましたが、開催に際しては、協会役員、実行委員会、また協会の職員各位のほか、多くの関係各位に大変なご尽力をいただきました。コロナ感染第7波の中、いろんな懸念に心を尽くされ準備に奔走いただいた関係諸氏に、心より感謝を申し上げたいと思います。大変お疲れ様でした。貴重な時間を有難うございました。

シコク環境ビジネス(株) 吉田 歩

●機関紙編集委員●

○三好 光信 (株)ハウステック高松営業所

鷗岡祐一郎 (株)サンキ

吉田 歩 シコク環境ビジネス(株)

堀家 真大 (有)森清掃社

○印は、委員長です

「よみがえる水」No.107

■発行年月 令和4年10月

■発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会
〒761-8012 高松市香西本町1番地106
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670

■発行責任者 会長 山条 忠文

ホームページ <https://www.kagawajk.jp>

Eメール kjk@kagawajk.jp